

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の実績について

氏名	所属等	11/20 (木) シンポジウム等	11/21 (金) 分科会	備考
宮下 孝義	社会教育委員	—	—	
下村 耕一郎	社会教育委員	—	4	発表者
青木 千賀子	社会教育委員	—	—	
加藤 盛朗	社会教育委員	○	2	
沼上 純子	社会教育委員	○	4	
深井 孝一	社会教育委員	—	3	
城田 禎行	社会教育委員	○	5	
山下 理恵	社会教育委員	—	—	
山本 珠美	社会教育委員	○	4	
吉原 弘子	社会教育委員	○	4	実行委員
内海 賢太郎	社会教育課	○	4	
木村 和幸	社会教育課	○	4	実行委員
三谷 恭子	鶴嶺公民館	○	4	
竹松 真理子	松林公民館	○	2	

第2分科会	<次の世代につなぐ持続可能な社会>	
	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	
	栃木県市貝町	藤沢市
	地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた新イベント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について	「未来を担う人材育成～地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム～」
第3分科会	<家庭教育支援>	
	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	
	群馬県高崎市	寒川町
	「学び」を通じて親子が成長し、活躍できるための家庭支援の方策について	子どもの未来を地域で育てる～公民館・図書館における家庭教育支援の取組～
第4分科会	<共生社会の実現>	
	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	
	川崎市	茅ヶ崎市
	多文化共生社会の実現に向けて～市民館等における地域日本語教育の取組～	共生社会推進に向けて社会教育施設ができること～誰もが活用しやすい公民館を目指して～
第5分科会	<地域学校協働活動>	
	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	
	新潟県見附市	真鶴町
	社会教育委員がつなぐコミュニティ・スクールと地域学校協働活動～新潟県見附市立見附中学校での取組～	弱みを強みに！～小さな町の挑戦～

全大会の回答集計（速報値）

質問1：ご所属の都県

県名	数	割合
神奈川県	48	31.8%
群馬県	21	13.9%
東京都	13	8.6%
栃木県	13	8.6%
静岡県	12	7.9%
長野県	12	7.9%
茨城県	10	6.6%
山梨県	8	5.3%
埼玉県	6	4.0%
新潟県	4	2.6%
千葉県	3	2.0%
その他	1	0.7%

質問2：本大会への参加方法

	数	割合
全体会・分科会ともに参加	126	83.4%
全体会のみ参加	24	15.9%
空欄	1	0.7%

151

質問3：「歓迎セレモニー」の評価

県名	数	割合
大変良かった	111	73.5%
良かった	34	22.5%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	1	0.7%
空欄	5	3.3%

151

質問4：「記念講演」の評価

県名	数	割合
大変良かった	67	44.4%
良かった	68	45.0%
あまり良くなかった	7	4.6%
良くなかった	0	0.0%
空欄	9	6.0%

151

質問5：「シンポジウム」の評価

県名	数	割合
大変良かった	59	39.1%
良かった	74	49.0%
あまり良くなかった	7	4.6%
良くなかった	1	0.7%
空欄	10	6.6%

151

【参考】 分科会ごとの評価

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会
大変良かった	16	18	6	13	14
良かった	24	4	8	0	6
あまり良くなかった	4	0	0	0	1
良くなかった	0	0	0	0	0
空欄	1	8	1	1	6
計	45	30	15	14	27

質問6：全体会についてのご感想をお聞かせください。（速報値・原文ママ）

- ・ 歓迎セレモニーも記念講演もシンポジウムも素晴らしいものでした。しかしながら、実際に社会へ伝えていけばよいのが、難しいなとも感じました。
- ・ 本市の社会教育委員が、他市の社会教育委から今回の大会は福祉大会か？ということをおっしゃられたそうです。私個人としてはとても意義深いものであったと感じました。
- ・ 充実をしていた。
- ・ 最後に全員で合唱した「栄光の架橋」は、なかなかいい企画であった。できれば、「ゆずがサプライズ出演」というのは、難しいのかな。
- ・ 貴重な機会に参加させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 大会テーマを体現したよく考えられた全体会の構成だった。とてもよい学びの場を提供してもらい感謝している。
- ・ 素晴らしい大会でした。ありがとうございました。
- ・ 大変良かったと思います。
- ・ 共生というキーワードが大会の様々な場面で自然にみられたことが印象的でした。また、大さんふ頭通路はバリアフリーでデザインされており正に共生を体現していました。
- ・ 歓迎が伝わる内容でした。
- ・ みんなで合唱したのがとても良かったです。
- ・ 社会教育委員は「必殺仕掛け人」になってほしい。という言葉が心に響きました。
- ・ 最後に合唱するのも社会教育らしくてよかったです。会の運営お疲れ様でした。
- ・ これからの委員活動だけでなく、自分自身の人生においても、社会・地域に目を向け、共生していく重要性を感じました。
- ・ 最後の合唱もよかったです
- ・ 色々やりたいことはあると思いますがもう少し早く終わってもいいのではないかと思います
- ・ 主催者あいさつは開催地の会長のみでよい。鈴木さんの話が長すぎるし、来賓に対して失礼なコメントもあり、出さなくてもよい。トイレも混雑していたため、タイムテーブルもしっかり見直しをしてほしかった（セミナーの時間短縮など）
- ・ 社会教育委員に任命されて数ヶ月。社会研究大会に参加できて励みになりました。
- ・ 全体的な良い出来上がりだと思いますが話し方が早く聞き取りづらい演者がいて残念なこと。徳のマイクを通したときの話し方の徹底が薄かったのでは。時間を気にして話そうとするとどうしても早口になりますが目を見ないで話す時の訓練（練習）が必要だったのでは。
- ・ 駅から遠くなく、会場も広く、快適でした。スタッフの皆様ありがとうございました。
- ・ スケジュールに関して、13時開始にさせていただけると昼食を食べてから参加できるので助かります。
- ・ とても興味深いお話ばかりで、充実した時間を過ごすことができました。運営・開催に関係する全てのスタッフのみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。
- ・ 会場全体を引き込む本気が感じられた。行動に移すことから始まるそうすれば繋がっていく。有言実行、無言実行。
- ・ 多くの方の参加者されていて、社会教育委員の在り方を考え、誰もが自分らしく生きる社会を目指している、これこそが大切で考え続けるべきだと思います
- ・ 毎年、主催地域の特色がでて楽しみです
- ・ うまくいっただけでなく、特定の方に限られてしまう、参加者が減ってしまう等困っていることも、話題になるともっと良い。
- ・ 内容、雰囲気とも とても良かったと思います。皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました！
- ・ すごく難しいテーマだなあと感じながら、もっと沢山のことを学び活かしていきたいと思いました。
- ・ 大会とは別に前方の座席に座っていたがとても寒かった。周りの方々も寒がっていた
- ・ 異国情緒漂う美しい街で行われた大会で楽しみに参加しました。合唱もよかったです。スタッフの皆様お疲れ様でございました。終わったあと、象の鼻テラスを見に行きました。
- ・ スムーズな進行で良かったです。

- ・このような大会を開催するのは大変なことだったとお察しします。お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・文科会のみでの参加なので分かりません
- ・最後のコーラスとても一体になれて良かったです。
- ・ご準備お疲れさまです。スタッフのみなさんにあたたかくお迎えいただきありがとうございます。屋外で従事されていた方々も寒い中ご案内してくださりありがとうございます。
- ・互いのことを尊重しながら、人と関わることでつながりが生まれると感じた
- ・とてもあたたかい雰囲気「仲間」意識が感じられました。何かを一緒にやり遂げるというのはやはり良いものだな、と思いました。
- ・全体会を通して、伝統文化の力強さや、共生社会の実現に向けた視点、そして誰もが学び続けられる社会づくりの大切さを改めて実感しました。多様な学びが得られた充実した機会となりました。
- ・貴重な学びの機会をいただけたことに感謝いたします。本日もよろしく申し上げます。
- ・何から何まで御苦労様でした。
- ・社会教育で創る 育む つなげる の輪の中に、一步でも近づけるように、自分達の仲間と頑張る勇気をいただいた。
- ・青木先生の事例で、冒頭各組織の活動について緩やかなネットワークを形成したとの話があったが、具体的にどのようにして形成したのか聞きたい(山梨県都留市)
- ・これだけの大人数の大会を企画、準備、当日を迎えるのには、大変なご苦労があったと思います。よい大会になりましたね。ありがとうございました。
- ・シンポジウムの時、客席でおしゃべりをしている人がいて非常に不愉快だった。登壇者にも失礼だと思う。同じ社会教育に関わる人間として残念に感じた。
- ・よい、お話しをきくことが、できよかったです。できました
- ・自分が社会教育委員をやっていることの意味を考えさせられた。
- ・最後の栄光の架け橋の合唱も会場が一体となって良かったと思います
- ・よく練られた企画構想であった。丁寧な運営に感じ入った
- ・実行委員会の皆様企画運営にご尽力いただきありがとうございました。
- ・一つひとつが充実した内容であった。とくに鈴木会長の本音のお話に感銘を受けた。
- ・運営大変だと思います。ありがとうございました。大変残念に思ったのは、こうした大会なのに国家斉唱がなかったことです。ゆずの歌よりこちらのほうが大切ではないですが？
- ・シンポジウムの質疑応答が良かった。
- ・会場は、もっとイナカか良いと思います。横浜は久しぶりに歩きました1年振りです。
- ・来年は、群馬県なのでちょっとプレッシャーです。
- ・まだまだ、周囲の人々とアプローチは難しいと感じています。
- ・ありがとうございました。
- ・歓迎セレモニーが大変良かった！
- ・障害者にたいする考え方や受け入れ方などをもう一度見直さなければいけないと思いました。偏見を持たないようにと思っていましたが、自分はまだまだと感じました。
- ・多方面からの発表者が良い意見を述べていたのがよかった。
- ・最終閉会は16：00頃に設定することは難しいでしょうか。翌日の分科会もあるのでスケジュールに余裕がもう少しあるとよろしいかと思ひます。
- ・共生できる社会について、考え情報をたくさん得られる、多変有意義な時間でした。
- ・大会のスローガン、主題に合致した内容で新たな知識をいただき、発見の多い全大会でした。すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために、どのようなことができるか、じっくり考える機会と時間をいただきました。私一人にできることは小さいと思うのですが、「自分のできることをやってみる」「様々な人とつながってみる」ということはできそうなので「まずはできそうなことからやってみよう」と思いました。
- ・社会教育委員の役割が再認識できました。ありがとうございました。
- ・すべてが、社会教育でした。どこへ行っても社会教育委員の役割というテーマがある。

- ・ 司会から「一人ひとり丁寧な案内に努めている」とありましたが、受付の対応が悪かった。もう少し社会勉強をされたほうがよいとおもいました。シンポジストをどのように選出しているのかギモンです。
- ・ お疲れさまでした。明日参加できず残念です。
- ・ 今日一日大変有意義でした。ありがとうございました。
- ・ 主催者挨拶が漠然ととりとめもなさすぎて疲れてしまいました。
- ・ 準備を含め、当日まで神奈川県社会教育委員の皆様本当にありがとうございました
- ・ はっきりとした視点を決めて進めた方が研究大会といえるのではないのでしょうか。
- ・ セレモニーがシンプルで（表彰等がなくて）良かった。
- ・ 最後に合唱をいれたり雰囲気づくりもあり、すばらしい大会です。会長さんはじめお疲れさまでした。
- ・ 心配された全員合唱もうまくまとまりました。ただ、群馬県代表の方が「関ブロ、関ブロ」と使われた事が残念でした。立場のあるかたが、甲信越静に対して失礼でした。逆の立場ならいやな思いをしたはずです。
- ・ 「おもてなし」の言葉通り丁寧な対応をしていただき有難うございました。

<第1分科会>

- ・ 諏訪市の活動が参考になりました。
- ・ 発表だけでなく、グループディスカッションも含め、様々な事例を知ることができ、大変勉強になりました
- ・ 素晴らしい
- ・ 積極的に活動する社会教育委員の参考になった
- ・ 事例発表はどちらも参考になりそうで、とても良かったです。これから具体的に何が出来るか考えてみたいと思っています。
- ・ 社会教育委員が頑張っているのが素晴らしいと思いました。
- ・ 発表された自治体の取組みがとても参考になりました。グループ討議含めて他県の方々の意見や考え返りみると聴くことが出来て良かったと思いました。
- ・ 教育委員とはが理解できた。
- ・ 他県の状況を詳しく情報交換ができたので、大変参考になり今後の活動のヒントを得ることができた。
- ・ 1年目ですが、参加して本当に良かったです。
- ・ 元気な委員の方々の話を参考にさせていただきます。
- ・ 発表者ありがとうございました。
- ・ 身近な課題で大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 社会教育委員が正に主体性を発揮して、地域のための活動を行っていることが実感できた。私は、県の校長会の理事として、県の社会教育委員をやっているが、意見を言うことが中心で、自らの活動に問題意識をもつことがなかった。今後は、どのように主体性を発揮するかを考えたい。
- ・ 質疑応答の時間でのフロアからの質問に対し、発表者側の行政の方が不誠実な答え方をしていたのが、とても気になりました。
- ・ 地域の教育力向上に向けた教育委員の活動事例を2例聞かせていただきました。2例とも社会教育委員が率先垂範で活動されており参考にさせていただきます。
- ・ テーマを身近のところおき又紙芝居という大人も子どもも共有できる媒体を使ったことで興味を持ちました。残念なことは助言者の若原先生の早口トークで理解度が半減してしまいました。残念です
- ・ 発表する側だったが満足できた
- ・ 下諏訪町の活動は地域の特色を活かして、着目したのが良かったと思いました。そしてそれをどう伝えるか展開が紙芝居に発展して行ったのは素晴らしいと思います。これからはその地域の黒曜石をどの様に活かせるか知りたと思いました。
- ・ 社会教育委員が社会教育法第17の職務を全うするのは当然だが、発表した報告事例は、共に社会教育委員が自ら積極的に活動し展開している。そして成果も出してすばらしい事だと思いました。特に星ヶ塔遺跡に関わる紙芝居の全てにわたり社会教育委員が、製作、イベントでの上演、一般人向けの再編、YouTubeによる公開、と次々仕掛けて行く様が印象に残った。今我々の展開している活動の課題のヒントが見つかり幸いであった。
- ・ 社会教育委員の熱意や主体性により、活動の方向性が大きく変わると感じた。属人的でなく、制度的に発展できるようにしていきたい。
- ・ 良い事例を聞くことができました。
- ・ 第二部の周りの席の方とのグループ討議がとても学びに繋がり、参加して良かったと感じました。
- ・ 下諏訪町の紙芝居作りや海老名市の子ども達の体験の場作り、地域団体の交流の場作りなど、委員が主体となって活動されているのは大変だか、まさに社会教育委員の役割を上手く果たされていると思う。活動によってその後、地域の方々がどうつながったのかどんな影響があったのか、活動のその後をもっと知りたかった。
- ・ 発表者の一人がしゃべりが下手だった。
- ・ 4人グループでの話が進んで良かった。委員自らが動く事も大切だし、会としての提言力も大切。社会教育推進上の課題が多く難しいが、こういう交流も大切と思う。
- ・ 各地域の活動が、活発で刺激になりました。
- ・ 主体的に活動されている2つの発表は、素晴らしいものですが、社会教育委員の職務の範囲は、どこまでなのかなとも感じました。
- ・ 2つの発表とも委員会として具体的な事業にとくんでいる例。等身大で、現場で活動する私達にも可能なレベルの話でよかった。

<第1分科会>

- それぞれの地域で社会教育委員が活動していて地域の連携も作っていていい活動をしていると思った。
- 二例の発表を聞いて社会教育委員が主体となって立案から実施までされていて見習うべき発表があると思いました。なかなか委員が全員協力してやるということは、難しいですね。
- 2つの事例とても為になりました。発表のみなさんありがとうございました。
- 自分たちの町の魅力を発信するのに紙芝居を作り進めをとという活動に素晴らしさを感じた。
- 実践報告が印象的でした。
- 委員の積極的な活動して、関心しました。「発表ありき」だったのが、自然発生的に活動したのか知りたかった。
- 発表テーマについて、事業内容自体はよい取組だと思いますが、社会教育委員の役割は、各自治体の社会教育の計画の立案、調査研究といった総合的に意見や助言をする立場であり、実働部隊ではないので、発表テーマはあまり参考にならなかったです。
- 発表者の側なので発言しづらいのですが、そもそも社会教育委員の仕事が分からないとか、名誉職なのかとか、発言しないやる気を感じられない人がいるとの感想が出た。無くても良い会？と正直思った。
- 紙芝居良かったですが、カルタに挑戦し大会を開くこともよいかな？文言も一公募すると広がりがある。社会教育委員の役割が広すぎる発表があり困惑！！地域的もあるかとおもうが！！
- 社会教育委員としての積極的な実践事例が聞けて刺激をいただいた。現状として、同じ取組は厳しいとも感じた。

<第2分科会>

- ・ 青少年の主体的な活動を促し、賛同すること、サポートすることが「大人」に求められているのではと考えさせられました。
- ・ 市貝町の市貝ジュニアリーダーズクラブの発表は想像を超えていた。町の将来を高校生達が見据えて、ジュニアリーダーズの枠を越えて、ボランティア活動を通し町の若者に地域の可能性を見付け好きになれば町から出ていくこともなく、人口減少に歯止めがかかるとの考えを持って活動しているのは素晴らしい！高校生にしてボランティアの真髄を見極めていいるのではないかと感心した。残念なのは、社会教育委員の姿が見えないのは？
- ・ 全体の流れ構成も良くジュニアの方々の発表内容も良かったです
- ・ 発表された2つの市、町とも、特徴が分かりやすく大変良い発表だったと思います。
- ・ 栃木県一貝町の高校生の皆さんの発表は我が子が同世代なのでこのように自分の町のことを思いながらイベントを企画して実現したこと。またそれをサポートする市の方々がいて、とても素晴らしいと思いました。藤沢市もNPOが入りまた違う形で社会教育委員が関わり社会教育委員の在り方もさまざまなんだということがわかりました。
- ・ 若い発表者の分科会でした 若々しく新鮮で良かった
- ・ 栃木県市貝市からの発表では、高校生が主体となり大人が協力して一つのイベントを作り上げたというお話を、藤沢市からの発表では、NPOが若者のインターンシップを支援しているというお話を伺いました。どちらの発表も「次の世代につなぐ持続可能な社会」の実現に夢が持てる、若者たちの頼もしい姿がありました。若者の主体的な活動を支える市貝市も、これからの担い手を育てる藤沢市も、どちらも素晴らしい！と感じました。
- ・ 若者たちの熱い思いや、それを支える大人が上手く協働している事例を知ることが出来、気付きの機会となったことを嬉しく思います。
- ・ なかなか若い人たちを集めることは、むずかしいくなってきている時代であるがこれからは頑張っってやっていくことが必要性を感じた次第です。
- ・ 市貝ジュニアリーダーズクラブの方々素晴らしいです。
- ・ 若い世代が輝く社会教育活動の実際にふれ、これからでも私自身もがんばっていきたいと感じました。
- ・ 市貝町の高校生が町の将来を考えていてとても素晴らしい。藤沢の取組もとても参考になった。
- ・ 市貝町の発表が特に印象的だった。高校生が主体的に行政の人間やOB、OGと協力しながら一つの事業を立ち上げる意欲が素晴らしい。
- ・ 藤沢→若者自身が積極的に活動することをサポートしている。社教委員の取り組み方をうかがえて参考になった。市貝→高校生が自ら企画し主催したイベント活動の発表は、すばらしい！！まさに”地域の担い手”と思う。益々の活躍を！！このような若者（自主性ある）を育成することが社会教育委員の役割であると再認識した。
- ・ 若者の熱意、意気込、力、を強く感じた。本人たち、大きな自身になったと思う。
- ・ 若い方の生の声を聞けるのなんて思いもしなかった。具体的な悩みも話していただき、とてもわかりやすかった。自分の地域に戻り生かしていきたい。
- ・ 市貝町のイベントは実際見に行ったこともあり、当日を迎えるまでの苦労や流れを伺えて改めて自主事業を成し遂げた彼らの達成感を感じることができた。藤沢市の取り組みはさすが都会、というか、地元に大学がある強みもあるかな、と感じた。
- ・ 事例発表は2組ともとてもよかったです、特に市貝町の高校生が自信を持って発表している姿に感銘を受けた。
- ・ ボランティアに対する高校生の考え方が聴けてよかったです
- ・ 発表は素晴らしい物でした。社会教育委員の活動がみられずで社会教育委員会会議の活動をどのようにすすめていったら良いのか。疑問に思う。残念でした。
- ・ 大変参考になりました。
- ・ でも、社会教育委員との関わりが見えませんでした。音楽フェテバルは継続するのですか。
- ・ 若者の意見を聞けて、とても良かったと思います。
- ・ グループ協議があつてよかったです。ただ聞いているだけではなかった。他の人の意見も聞けた。
- ・ 発表質問グループ討議発表まとめ。それぞれからいろいろと考える事ができた。

<第2分科会>

- ・ 栃木県市貝町の若者があまりにもしっかりとされているので発表と聞きながら嬉しくなりました。がんばれ～。藤沢市の発表はNPO立ち上げ行政他機構との連携のノウハウを聞かせて頂き勉強になりました。
- ・ 同じ事例発表紹介について県外者（市貝町）は「さん」づけで県内発表者（藤沢市）は「様」づけであったのに強い違和感がありました。市貝市の発表については、JLCという団体がどうして40年もつづいているのかという視点で発表していただけると第二分科会の趣旨に合ったかと思います。

<第3分科会>

- ・ 所属市町村ではコミュニティスクールの導入していないため、新たな知見を得られた。
- ・ 高崎市、寒川町の真摯な取り組みを分かりやすい説明で聞くことができ、自分の地域の社教活動にどの様に生かしていけるのかを考える非常に良い機会となりました。家庭教育支援については、ターゲット層を分析して福祉の視点を入れること、そのための行政も横の連携を入れることなど参考になる点が多くありました。寒川町では、公民館や図書館と一体となった活動形態が印象的でした。持ち味をつなげて新しい価値を生む点がすごい。
- ・ 教員委員に任命されて数ヶ月。社会教育委員とは何か？模索してた先の分科会。とてもいい刺激になりました。
- ・ 家族のあり方、地域のあり方がかなり変わってきていて、学校側も、地域側も、行政側も、家族側も、さまざまな悩みがあることがわかった。いまの親が、地域との関わりがないことが当たり前になってしまっているから、関わりを求めてこない、そのもとで育った子どもも同じことになる、それが社会に出ていく、それが怖いという意見もあり、本当にそうだなと思いました。
- ・ 福祉との連携は大切。親が子育てをはじめたときから親同士がつながる体制が必要。
- ・ 事例発表は、身近な問題で、当市と同じ課題でわかりやすかった。
- ・ 高崎市の教育と福祉の連携は、今求められる時代にあった支援だと感じた。寒川町の指定管理者制度の導入による公民館事業と図書館事業を上手く使い分けた取り組みも参考にしたい、
- ・ 他市町村の方々とグループになり、家庭教育支援について話をしたが、家庭における教育の問題は、表に出てこない案件も多く、支援がなかなか難しいと感じた。
- ・ 市町によって活動の違いはあるものの、社会教育委員と行政の関わりは、同じだと感じました。教育部会と福祉部会、さらに市民が同じテーブルについて課題やよりよい施策を共有、検討していくのがいいのですね。
- ・ 各地域の様子がよく分かりました。自治体の施策や風土による組織の違いなども掘り下げられるとさらに充実した研修になったと思います。
- ・ グループ協議では、参加者は皆積極的に情報交換、意見交換をしていました。他市町村の状況を知ることができ、参考になりました。
- ・ 大変難しいと感じた。まだまだ家庭教育支援まで手が出せない状況です。
- ・ 事例発表を聞いて、様々な繋がりやアウトリーチ型で家庭教育を届けることの重要性を再認識した。

<第4分科会>

- ・ 茅ヶ崎市の職員です。分科会の発表を行うことについて、当初は社会教育委員も含めて考えてはいませんでした。しかし、分科会に参加して他の参加者の反響もお聞きしてエントリーしてよかったと思います。本市の取組は決して先進的なものではありませんが、社会教育委員や行政職員が一緒になって作り上げたということに意義があると感じています。まだほんのスマールステップですが、何かの参考になれば幸いです。
- ・ 私のとりましてはタイムリーな課題でした
- ・ 共生社会の実現というテーマで、「多文化」「障害児・者」の二つの実践についての取り組みを伺い、とても参考になりました。グループ協議の中で、共生を目指すという大きなテーマを掲げるだけでなく、今回の事例発表のような狭めたテーマで刺さっていく・取り組んでいくことで、共生社会が実現しやすいのではないかという話題になりました。自分の自治体での方針・施策や自分でもできることについて改めて見直したいと思いました。
- ・ 参加した方々から、積極的な意見交換ができて良かったです。
- ・ 川崎市さん、茅ヶ崎さんの両市のすばらしい発表内容にとっても感動致しました。互いの国の文化のふれあい交流にこぎつける事等多くのご苦労があると思います。ありがとうございました。
- ・ 最近、私の地域にも外国籍の方々が増えてきているので、興味深くお話を聞きました。また障害のある方の存在が地域では埋もれているという視点も忘れてしまった事を思い起され、とても勉強になりました。
- ・ 大学生の方も参加して下さって自分たちの活動や活動の中での課題を語って下さってとても良かった。グループ協議も情報交換ができてとても良かった。
- ・ 他市の取組を知り、考えを共有することができ大変勉強になりました。
- ・ 自分も社会教育を担当していますが、共生社会については、あまり明るくなかったのので、本日の発表を聞いて皆さんとグループ協議をして、大変勉強になりました。もっと市内の連携ができるような体制を作っていけると、共生社会の実現に近づいていくのかなと思っています。
- ・ 沢山の考え、実行している事を聞け、自分の社会教育で生かしたい。
- ・ この提案は地域性が全面にでて良かったです。
- ・ 神奈川の方々といろいろざっくばらんに話せて楽しかったです。共生は難しいテーマだと思いましたが、ヒントをいただきました。
- ・ 共生社会は互いの利解が大切だが、身近な所ほど必要があるときづきがあった。

<第5分科会>

- ・ どの地域でも苦勞しているコミュニティースクール、地域学校協働活動についてのヒントを与えてくれた。
- ・ 他市町村では社会教育委員の活躍が目立ちました。私たちの市社会教育委員にも、このような取り組み実践がある事を繋げていきたいです。
- ・ 2つの事例発表があり、それぞれの地域の事情に即した活動を知ることができ、その地域で出来ることに挑戦していくことが大切と感じた。
- ・ 地域資源を生かした様々な取り込みが大変参考になりました
- ・ とても参考になりました。私の町でも実践可能な活動もあり、今後に活かしたいと思います。
- ・ 社会教育委員が力を合わせ現場にとびこむことから意識を共有させ、弱みを強みへの転換をなしとげること、本当に教えられるものがありました。
- ・ それぞれの取組、社会教育委員のあり方、大変参考になりました。
- ・ 事例の内容とても参考になりました。最後のまとめの中で社会教育が「場づくり」というところ納得できました。
- ・ 社会教育委員のはたらきについて、改めて教えさせられました。
- ・ 今回のテーマ地域学校協働活動は、私たちの今の研究テーマです。事例の発表助言者の藤原先生のお話を聞いて、とても参考になりました。私たちも私たちなりのコミュニティースクールをつくっていかれたらとおもいます。
- ・ 参考になりました。
- ・ 発表、質疑、協議、助言等、適切に進行され、勉強になった。
- ・ 現場重視の上で、環境資源・人的資源を工夫しながら子どもたちのために企画、実践されている点が参考になりました。
- ・ 学校教育と社会教育がうまく溶け込むためには、お互いがお互いの「視点」を大切にすべきだと感じました。学校現場の立場として、社会教育についてもっと学びたいと思います。
- ・ とても参考になる事例でした。
- ・ 真鶴町の発表、とても興味深いものでした。町民のみなさんと一緒に作り上げている様子が伝わってきました。参考にしたいと思います。
- ・ 発表の準備をしっかりとしてくれたところとそうでないところで対照的でした。
- ・ パワーポイントの組織図などは、印刷して配布してもらえればよかったです。同じ社会教育委員ですが、活動形態は様々だと感じました。
- ・ 社会教育委員が学校（児童、生徒）とどのように活動し教育委員会に意見がの述べられるかが参考になりました。
- ・ 海と山の子供達の交流会、現在ある資源の活用等々と方法、難しいなあと思った。
- ・ 発表御苦勞様でした。
- ・ 新しい試みを期待したい。

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 参加申込状況 (R7. 11. 17現在)

参加申込者	参加費			県理事	キャリア会 (参加費)	全国社教連	登壇者	来賓 (情報交換会含)	事務局・県社 会教育主事	1日目のみ参加
	県内	県外	計							
749	269	429	698	2	16	2	5	7	19	

※1名大学生

※4名参加

※県外内訳

12名は手伝い

茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	その他
37	56	43	49	25	68	11	60	37	40	3

※関プロ副会長除く ※関プロ副会長除く

福島2、宮城1

情報交換会

参加申込者	県内	来賓	県外	全国社教連	国社研	手話通訳	車いす補助
149	50	3	93	2	1	0	0

※3階メイン会場対象者110名：県外95名＋来賓3名＋全国社教連2名＋県内9名（会長1・副会長3・県理事1・キャリア会4）

<分科会>

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会	未定
参加申込者	148	111	80	66	105	21
発表者・随行者	10	11	6	4	6	0
合計	158	122	86	70	111	21